

## 令和3年度第4回八幡平市環境審議会 会議録

日 時	令和3年12月20日（月） 10時00分～12時00分
場 所	八幡平市役所 3階 大会議室
内 容	1 開 会 2 市長あいさつ 3 会長あいさつ 4 議 事 (1) 第2次八幡平市環境基本計画について 5 その他 6 閉 会
出席者	<b>【委員 12人／15人中】</b> 竹原明秀委員、富岡治安委員、遠藤忠志委員、高橋正志委員、高橋富一委員 田中耕一委員、畑山勝美委員、川村裕二委員、田村正之委員、芳門重信委員 浅利一成委員（代理出席）、佐藤勤委員 <b>【事務局等】</b> 佐々木市長 （事務局：市民課）小笠原市民課長、坂本課長補佐兼環境衛生係長、中軽米主任

会議録	
1	開会
2	市長あいさつ
3	会長あいさつ
4	議事
(1) 第2次八幡平市環境基本計画について	
事務局	前回からの修正点を説明
	質疑応答
会長	前回の資料に対してこの様に修正したという説明でありましたけれども、これ以外も含めて皆様方から、どこからでもよろしいのでご質問とかご意見をいただければと思います。
委員	17 ページの水質環境基準に BOD を明記しましたということでしたけれども、適合率ということは判定基準があるわけですね。BOD のタイプでいうと AA から E までランクがありますが、この適合率というのは、どの部分に対して合格としているのですか？
事務局	A タイプを基準としています。31 箇所を調査しまして、27 箇所が AA、3 箇所が A、1 箇所が A の基準を下回ったということで、適合率が 1 箇所除いた 96.8% となっている状況です。全て A 以上となるような目標としたところであります。
委員	A タイプというのは水道水 2 級で、飲み水に使う水ですよ。一般河川を判定する時に、

	<p>飲み水に合わせているのですか？あまりにもレベルが高すぎるのではないのでしょうか。</p>
副会長	<p>水質の基準に関しては、県でも水質の検査を行っており、そこでは類型の当てはめというを行っています。A類型への当てはめが8割、9割となっています。八幡平市で行っているのは、県が調査していない、類型の当てはめになっていないような市町村が管理している小さな河川を調査されているかと思います。そこでA類型に当てはめた場合の適合率として基準を用いていると思いますが、基本的に判断する上ではA類型が1つの目安になると思います。</p>
委員	<p>うちの方の近くの用水路は、近くに養鶏場がありますが、ここには鯉も棲まなくなりました。それでもこの間測定してもらったら、問題ないということだったので、果たしてそうなのかなと思って聞いてみました。</p>
事務局	<p>水質については良い数値が出ていますけれども、今はコンクリートの三面側溝という状況が増えております。生物が棲める環境と言いますと水がきれいだということと合わせてはなろうかと思えます。なお、数値が悪いのは流れのないところですけども、そういう所も数値を良くして、適合率100%を目指していきたいと思っております。</p>
委員	<p>養鶏場の現場管理の人と話した時には、環境保全ランクでいうとEランクという範囲での数値の話をするんです。ちなみに、この辺は水路の水を農業用水として使うんですが、この間は農業用に使えないという話が農家からあり、保健所にも来てもらって説明を受けた経緯があります。農業用というのはDランクになります。多面的交付金の事業では、水路を定期的に監視する活動をやってもいいですよということになっていますので、定期的に河川から水を取ってきて分析をするということをやろうとしているんですけど、その時に判定基準をAAとしたら、みんな使えないじゃないかということで大変なことになってしまいますので。</p>
市長	<p>調査箇所の主なところどこか分かりますか？</p>
委員	<p>地図になっているものがあるかと思うのですが。</p>
事務局	<p>西根地区は、涼川、根別川、走川の水路、共新の水路、町組の水路、大更駅前の水路等で計10箇所となっています。松尾地区は、長川の前森橋、時森橋、赤川の中沢橋、積水メディカルの排水溝、北ノ又川、八幡平温泉郷の排水溝等の14箇所となっています。安代地区、安比川、米代川、打田内川、新町の用水路、田山の用水路等の7箇所となっています。</p>
委員	<p>BODの調査だけをやっているのですか？</p>
事務局	<p>BODの他にも浮遊物質（SS）、溶存酸素量（DO）、大腸菌群数を調査項目としており、松尾地区においては化学的酸素要求量（COD）も調査しております。</p>
委員	<p>他市町村についても判定基準を聞いてみてはいかがでしょうか。</p>
副会長	<p>県では法律に基づいて公共用水域及び地下水の水質測定計画というのを立てています。そこで基準を満たしているかどうかというのは、類型当てはめというのが行われている河川で、BODで見ます。BODというのは通常、水の汚れの指標と言われているので、それでA類型であれば水質環境基準を満たしているということになります。</p>

	<p>市町村さんでやられているのは、市町村で管理している河川、水路であろうと思いませんので、他の市町村で調査をやられているのも類型当てはめを行っていない所かと思えますので、A類型を満たしていれば、その河川においては良好な環境を満たしているというふうに見ていると思えます。</p>
会長	<p>100%を目指すということで、31 箇所以外にも増やす必要があるかどうかとか、市民の環境配慮指針の中に水質事故発見時には連絡し、それを市の方では対応するということを書いてありますので、市民の方では監視というわけではないですけども、おかしいといった場合には対応できるということとやるということですね。もう少し市の特徴を言うのであれば、第1次計画の時には、八幡平市の特徴は名水であるということから水質を守るというのが一つの目標としてありました。今回はそういった部分が薄まってしまっているの、通常のA類型以上という格好になっているのかと思えますが、A以上を目指すのであれば、どこかでそういう市の特徴についても触れてもいいかなというふうには思っていますが、なかなか書きづらいかと思うので、これはこれで了解していただくということによろしいでしょうか。</p>
委員	<p>23 ページ、温暖化対策のところ、2018 年度の実績が 11.5%の削減にとどまっていますと書いていますが、前の計画では 2030 年度に 46%減にしなければならないとあったと思います。2018 年度はいくらになっていれば良かったのか、目標に達成したのかどうかということを書かないと、次の計画の反省にならないと思えます。それから、以前にもお話ししたんですけど、CO<sub>2</sub>の集計が2年遅れの集計になっていますよ。今年 2021 年度なので、少なくとも 2020 年度の数値が欲しいんですが、でも 2018 年度までしか数値が挙がってきていない。いつも2年遅れの数値を見ながら議論をしなければならないのが非常にもどかしい。だからここをもう少し何とかしないと、いつまでたってももどかしいまま、何をやっていいのかわからない。2年遅れの話をしてもしようがないと思うので、ここはぜひ、さっさと計算してもらって、さっさとこうだよということを言わないと、次に絶対結びつかないので、ここが大きな課題だと思うんです。この2点、事務局いかがお考えでしょう。</p>
事務局	<p>1 点目の、2018 年度の温室効果ガス排出量の目標のことについてですが、これまで定めていた市の温暖化対策実行計画（区域施策編）では、中期目標として 2030 年度の中標は定めていましたが、それまでの年度毎の目標数値までは定めてはいませんでしたので、比較する数値がないところではあるんですが、全体として見て、2030 年度の 39%削減に向けると 2018 年度の温室効果ガス排出量が 11.5%にとどまっているというような表現にさせていただいたところです。</p>
委員	<p>だからそこをどう認識しているかということです。順調にいつていると認識しているのか、足りなかったと認識しているのか、十分にいつているのか、ではないよね。とどまっているという表現なので、足りなかったんだろうなというニュアンスはあるけれども。そのところしっかりと認識しないと。ちょっときつい言い方になってしまいますが。だから中期目標、5年とか10年とか作るけれど、2年先、1年先の目標値を作って頑張らましようね、毎年の積み上げでいくんだから、ある年突然ぽーんと削減できるわけないんだから。こういうのは着実にやらんとだめなんじゃない</p>

	<p>ですかとなるんですけどね。これは分かってもらえればいいんです。で、2番目は？</p>
事務局	<p>おっしゃりたいことは非常に分かるところではあるんですけども、行政的なところで申し上げますと、全て国なり県なりの統計に基づいて色んな計画を立てているところなんです。じゃあ八幡平市だけ独自に集計できるか、八幡平市が国や県と飛び越えるというか、独自に集計に使えるものがあるかという、非常に苦しいところがあります。さらに、それにデータを集めるとかに予算をかけてまで独自に集計したものの意義を考えると、かなり難しいところかなというのがあります。確かに、常に2年遅れというのはその通りではあるのですが、この苦しいところは何かご理解いただければと思います。</p>
委員	<p>それは私は賛成できない。理解できない。確かに国も県も2年遅れです。でも八幡平市はそれを参考にして、尚且つこういうサンプリングの集計値では去年までは順調にいらっていますとか、ちょっと滞っていますとか、八幡平市の意思を示して欲しい。お金が少しかかろうが。そもそも環境に対してどのくらい予算取っているんですか。予算がない、予算がないで済めば、何もできませんよ。だから、CO<sub>2</sub>の件にしたって、パレートの法則ってありますよね。業種ごとに主要な2割をサンプリングして、その数値を毎年集計して、その結果順調にいらっていますとか、滞っていますとか、この業種は順調にいらっていますとか、そういうことさえ言えればだいたいわかるでしょ。車の台数が極端に増えていますとか、減少しているから運輸部門は下がっているはずだとか、色々知恵を絞れば出ると思うんです。</p>
事務局	<p>2018年度の11.5%削減の目標が、比較して良いのか悪いのか、それができないということでもありますけれども、比較するには難しいところがありまして、長期的なところで目標を定めているところでありまして、短期的なところでは、今の時点ではできなところ、これからの課題としてとらえているところです。2点目の2年遅れのデータでしかできないということで、これについては国、県の方で集計上どうしても出るのが2年後になってしまうということで、今年に比べると2年前の数値になりますけれども、集計作業の中ではそれが最新のデータということで、それと比較して、それを参考にして数値を用いて当市でも集計をしているところでございます。これにつきましては、当年度の数値を出さなきゃならないというのはご指摘のとおりでありますし、その数値を目標に、あるいはその数値をどう捉えていくのかということについては、次の年に素早く対応していくということで、それはまさにご指摘のとおりでございますけれども、今回の様に集計の部分については二酸化炭素の削減率は集計の中でも、森林の吸収量等もまだまだ積算の方法が複雑で、それをどうやって積算していくのかもこれからやらないといけませんので、その辺はご理解をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>それは農林水産省のホームページにいけば、森林、例えば杉とか色んなのがありますけど、代表のものを使って、面積がこのくらいだから、このくらいになるはずだというのが計算できますよ。家畜に関して、牛が一番大きいんですけどね、反芻で出るメタンの量も計算できます。だから、八幡平市ではという独自に計算はできるんです。全部全部を国や県に頼らなくてもできる範囲はあるんですよ。少なくとも森林が</p>

	このくらい減ってきたから、吸収量はこのくらい減ったんだよとか、家畜がこのくらい増えたから CO <sub>2</sub> に換算するとこのくらい増えていますよとか、そういう認識はきちんと持ってほしい。
事務局	今ご指摘いただきましたことは、今後の課題とさせていただければと思いますので、よろしくお願いします。
委員	課題にしますというのは具体的にいつどう対応するんですか？
会長	成果指標が、排出率の削減率しか項目には挙がってないんですが、例えば市の実施事業の中には節電とか節水、省エネに取り組みますと書いてあるのであれば、そういうのは成果指標には入れられないですか？あるいは、市の電気使用量とか。成果指標がこれ1つしかないの、削減率だけで議論されると数値もないわけですよ。成果指標を加えることはできないでしょうか。森林とか家畜とかは、変動が難しいかもしれませんが、それを CO <sub>2</sub> に置き換えるわけではなくて、CO <sub>2</sub> の削減等を含めた、計算する上で必要となるようなデータをどこからか持ってくるかできませんかね。このままでは成果指標があいまいなままで基本方針4が終わってしまうような気がするんです。毎年度出せる様なもので、代用できるようなものは難しいですか？
委員	CO <sub>2</sub> 削減が何%あったというのは計算がしにくいというのは何となく分かりますけれども、減ったとかという数字だけでも面白いのかなと思います。ゴミが何トンあって、今年は何トンになって、このくらい減っていますよとか、数字で次の対策を考えるという方法もあるのかなと思いますが、いかがでしょうか。
市長	今のゴミのお話は別な項目の方に載っているということもあるんですが、環境省の自治体排出量カルテというのは、国の方で色々な分野のデータを取りまとめて掲げているかと思うんですが、その項目の中で市として捉えられる項目が何々あるのか、もう少し研究させていただいて、ピックアップしてその部分だけでも取り上げて傾向を掴まえていくということであれば、やれる範囲かなと、来年からでもできるかなと思っております。当然、トータルで考えれば、正式なデータとしては難しいわけですが、そこはそこで環境省の方には要望をさせていただきます。それから、1点目の11.5%の減にとどまっていますという表現は、委員さんのおっしゃるとおりでございますので、2030年度における削減率46%に対して現状の11.5%がどのような状況であるのか、遅れている、あるいは順調なのか、その表現が足りないということはその通りだと思いますので、ここの記述は変えさせていただくということで、お願いいたします。
会長	この場でこうだという結論は出せないかと思いますが、パブリックコメントまでには、こうしましたよという連絡を受けながら進めたいと思います。難しいですよ、国の方も遅れて数字が出てくるので。その数字が合っているかどうかの検証も難しいのかなと常々思っているのですが、実態とちょっとかけはなれているかなという気がするんですが、他にそれぞれの部分に関してご意見とかいかがでしょうか。
委員	29 ページの右側の事業者の環境配慮指針というところで、環境マネジメントシステムの導入やこれに準じた取組に努めますということを謳っていますが、環境マネジメントシステムを導入するにも人材とお金がかかる話で、中小企業ではおいそれとや

	<p>りましょうということには中々ならない部分があるので、努めて導入してもらえようようにやってもらえればよいと思います。その時に、重要なのはこれを導入できなかった場合に、これに準じた取組ということで、各事業者さんの方に市の方で指導もしくはお願いをしている内容があると思うんですが、具体的にはどういう内容をお願いもしくは指導をしているのでしょうか。資料があつたらいただければと思いますし、もしこういったものを行っていますよというのが箇条書きでもあれば2・3点紹介いただければと思いますがいかがでしょうか。それから、環境というのはISO14001 だけじゃなく、エネルギーに特化した ISO50001 というのがあるそうです。もし指導等をするのであれば、ISO14001 の内容と、ISO50001 というエネルギーに関するものを一緒にやらないと、目標に定めているところに達しないのではないかと思います。</p>
事務局	<p>事業者アンケートを行った結果の一番の課題でもある、行政に求めるところは何かというところで「情報提供」というのに絡んでくるんですが、市の方から事業者さんへ中々環境の制度的なところや支援メニューをこれまではお伝えできていなかったと思います。市の方も情報をしっかり把握できていなかったということもあり、具体的に取組んでいたものがないような状態にありますので、手持ち資料がないところですが、本来であれば、今すぐにでも取組んでいかなければならないところですが、情報収集をしながら事業者さんに情報提供をしていけるように改善していければと考えております。</p>
委員	<p>具体的にこういうものを行っていますよという物は、今はないということですね。将来的に作る予定はあるんですか？例えば、小冊子みたいな物を作って事業者さんに配って協力を求めるという予定はあるんですか？</p>
事務局	<p>具体的な案は持ち合わせていないのですが、冊子にまとまっているものがない状況ですので、最新のものを整理しながら、市内事業者さんが使えるような制度に絞ったものを、企業懇談会の場であるとか、そういう場で提供させていただければと考えております。</p>
会長	<p>その点、上から3行目、市の実施事業に「環境に関する情報の取集・発信を促進します」と書いてあるところですが、促進だと自発性が足りないような、自発性が足りないような感じがしますよね。促進ではなく、推進ではないですかね。情報をどう発信していくかということについて、様々な方法を用いてとか、積極的にとかいう言葉をどこかに入れてもいいかなという気はしていますので、検討していただければと思います。</p> <p>ちょっと先に進ませていただいて、30 ページからの計画の推進に関して、先ほど委員の方から、「これではよろしくないのではないかな。もう少し市の取組み方をもっと積極的にやった方がいいのではないかな」というご意見をうかがいました。それはどういうことかと言うと、31 ページの方に、PDCA というサイクルがどういう格好でやられているのかが不明確ではないか、行政の中で取組みを行うと書いてあるんですが、どのような取組みを実際行うのかという部分をもう少し明確にしていく、あるいは庁内でこういう体制で環境に取り組むとか、誰がどのようにやるのかという</p>

ところをはっきりさせた方がいいのではないか、このサイクルの話と先ほどの話は同じような話なんですけど、ちょっと他人行儀的な感じですよ。自分たちは役場の中でこういうやり方をもって市民に出すと。市民や事業者から意見を受けたらそれに対してどう反応するかという、その辺をもう少しはっきりさせた方がいいんじゃないかという意見でした。これは市の中の話なので、ここでこうした方がいいよと審議会から言いづらい部分があるんですが、審議会の立場としては報告を受けて意見、提言を出すという格好の話なんですけど、報告を受けるにしてももう少しまとめた、あるいはこうだからこういう報告に持っていきたいというのが、ただ結果だけではなくて、方向性なんかの意見をいただいて、こちらから良いですねとかもう少しやった方がいいのではと言える方向にもっていければいいのかなと思うのですが、どうでしょうか。要するに、市民課だけではなくて、各課でこれをやっていますから、市民課は各課へこういう意見がありましたよと話はするかと思うんですが、あるいは審議会へ各課の代表者が来られて、質問に対して答えているんですが、なんかバラバラですよ。市の立場としては。そうではなくて、市としても少し議論をしていただいて、こちらに報告すればもう少し仕事が早いと言いますか、できるのかなと思うのですが、その辺、庁内の体制が今どようになっているのかというのを、あまり我々が聞いたことがないのですが、どうなっているのでしょうか。今回の計画を作るにあたって、それぞれの部署に計画どうなっていますかを聞いて、ただ寄せ集めされているだけのような気がしてならないんですけど。たぶん庁内の中でもお話はされているかと思うんですけど、そこで少し揉んで、この部署はこう言って、この部署はこう言っていたから、合わせてこうした方がいいんじゃないかという議論はあったんでしょうかね。いかがでしょうか。なかったよというのであればそれでしょうがないんですけど、本当はやはり体制をもう少し作って、中で揉んで、見直し改善を進めたものをこちらに出された方がよろしいのかなという気がするんですが。これをこの中でどの様にしていくかというのは難しいんですけど、30 ページの市としての推進体制の中にもう少し具体的にこんな風にもっていかうということも書かれてもいいのかなという気がするんですが。たぶん県とかでは、県庁の中でやられて、審議会には予算がこのくらいでこういくことをやってというような話が出されて、もう少し分かりやすい部分があるんですけど。市としてはそのような体制づくりや、あるいはもしくは報告する内容に関してもはまだまだこれからでしょうかね。

市長さんの方から何かこういった方向に持っていきたいとか何か方針があればお伺いできればと思いますが、いかがでしょうか。

市長

それぞれ計画が様々ある中で、それぞれの推進体制がなかなか統一されていないという部分があるのはその通りかと思えます。今回の新たな計画策定にあたっては、事務局で作ってそのまま審議会にあげるということではなくて、やはり庁議という管理職が集まる会議があります。その中では当然審議会に出す前に揉んでいただいたり、あるいは各課においてはそれぞれ取り組みをしっかりと進めるようにというようなことでの話をする場になるわけですが、今回この計画ができて、それぞれ具体的な事務事業については、各年度において予算化されながら取り組んでいくわけで

	<p>すけれども、この PDCA の流れにつきましては、この計画はあくまで Plan、そして Do は予算ということになると思います。その結果を各課の方から点検、報告ということで出させるわけですけれども、それを基に庁内で議論をしながら、取りまとめて、そして見直し、改善等も意思統一をしながらこの審議会に臨むと、こういう形を来年度以降、計画の推進状況を含めこの審議会に報告する前にそういう流れで進めていきたいと思っております。よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>何かコメントがあればお願いできればと思います。</p>
委員	<p>PDCA を回すとよく言いますが、まさしく形を描いたものであって、基本が大事なんですよ。基本となるのは六何の法則を使わないとなかなか出てこないですよ。六何の法則とはいわゆる 5 W 1 H のことですけれども、これを裏に付けたならば解決するんです。そうすると、この時期に誰が何をやってというのがここに出てくるというのがわかりますから、それが無いとただ回しますよと言っても、誰が回すのよになってしまうわけですよ。ですからこの Plan の段階で六何の法則を使った方式で、これに対する個々の計画が発生するわけですが、それに対して、いつだれがどのような内容で Check するんだという詳細を決めないといけませんよね。それを各課できちんと決めて、各課できちんと意思統一していけば、自ずとこの PDCA は回ると思うんですよ。ですから、大元が分からないから PDCA を回しますよと言ったって、だれがいつどこでどう評価するのか分からないですよ。ですから、そこが分かるような資料を付けてやれば、きちんと回れるのではないかと思います。</p>
市長	<p>今のお話、大変参考になりました。ありがとうございます。基本的には 32 ページにある事業進捗管理表に、各取組項目がありまして、担当部署があって、それぞれ指標設定もあるわけでありまして。それに基づいて、Do のところ、計画の実行を進めていくわけですけれども、それ以外にも予算等、色々な観点から、計画の実行についてはチェックのところ、点検・評価するわけでありまして。その見直し改善のところ、私が今まで携わってきた中では、この Check のところまでは、昔と違って今の計画は全てにおいて指標設定されているのが当たり前でありますので、物差しはできております。その結果に基づいて、どう Action を起こしていくか、ここがなかなか基準がなくてですね、それぞれの主観的な考え方に寄っているような部分もありますので、見直し、特に改善の部分について、しっかりと庁内で検討できるような体制を、この計画だけに限らずですね、そういう形で進めていきたいと思っております。</p>
会長	<p>32 ページ以降、それぞれの細かいことが書かれているんですが、空欄が多いので、これでいいのかというのも多々あるかと思っておりますけれども、アクションまで頑張ってやっていただいていると思っておりますが、審議会がいつその報告を受けるんだという話も多々出てきます。たぶん部署ごとに Check の時期がズレるので、Check が終わった段階での報告になってしまうのかと思うんですが、この辺を少しうまく合わせるような恰好で、本当であれば見直し改善までの部分を受けて審議会をやればいいのかとは思いますが、そうすると前年度の成果がその秋になってしまったり、それでは遅いのではないかという議論もあるので、少しずつ全体を早める様なやり方を考え</p>



	<p>てもらおうように、あくまでもお願いにはなるのですが。本当は報告は早めに受けて、改善までいくと時間かかると思うので、そのやり方を十分検討して頂ければいいかなと思います。今の話の様に、市の推進体制に関しては、30 ページのところをもう少し入れてもいいのかなと、PDCA がいきなり出てくるので、もう少し書かれてもいいかなと思います。いずれ 32 ページからのところは小さくて読めないところもあるのですが、空欄はどうしようもないのですか？</p>
事務局	<p>こちらはまだ庁内決定していないのと、基本計画の報告性が完全に定まってから、各課の方で改めて目標設定をしていただくということを考えていた段階のものなので、これからになりますが、最後はきちんと埋めたものになります。</p>
会長	<p>これが計画の中に入るんですね？今年度末までの計画の完成までに。</p>
事務局	<p>はい、計画に入りますし、今いただいたチェック、各課での点検部分、報告内容の部分を、この表の中に上手く入れ込んだ形に組みなおしていければいいなと考えております。こちらは、毎年度数値に関しては見直していきたいという部分もありますので、別表として取り扱うことを考えている表になります。</p>
会長	<p>そうすると、各項目の中に成果指標というのがいくつかありますよね。それに関しては今年度中には入るわけですね。それは公になるけれども、この表に関しては別に分けるとなると、少し扱いが変わってしまいますよね。平気ですかね。要するに、成果指標に関して何点かあるのは決定ですよ。それに対して、この審議会の中でこれは入れた方がいいとか話は出せるんですか？他にもっと入れた方が良くという意見があれば、成果指標の中に入れ込むことは可能ですか？</p>
市長	<p>31 ページまでの部分については基本計画ですから、この基本計画に書き込まれた指標は、あくまでも基本計画に基づく成果指標だから、皆さんに揉んでいただいて、目標も含めてこの場で決定し、32 ページ以降は、この基本計画に基づいてのいわゆる事業計画でありますので、当然来年度の予算が裏付けになっているところであります。その予算決定後に内容が決定ということになるわけですが、この事業計画に係る指標設定は、基本的に事務レベルで設定するという考え方でこれまでできていたと思います。その辺、整理して説明してもらえれば。</p>
事務局	<p>今、市長がおっしゃった通りのところでございます。32 ページ以降の指標のところについては、これまでは実行計画という計画書があり、基本計画書と同じ文言に加えて、実施事業の中からいくつかを成果指標として定められていました。ただ、予算等で事業が廃止になったりしても、目標数値を変更することができずに、対応しづらかったということがあります。そこで、実行計画書としてではなく、別表として切り離して、予算と各課の事業に応じて実施していこうと考えているもので、目標数値に関しても各担当課において PDCA の反省を踏まえながら、翌年度なり翌々年度の目標数値を変更しながら取り組んでいくものと捉えていただければと思います。</p>
会長	<p>中身は分かったんですが、各基本方針の中で成果指標が何点か挙がっていますよね。先ほど CO<sub>2</sub> の話があったように、成果指標が 1 つしかないところで、基本方針 4 のところは 1 つしか指標がないこれでいくのがいいのかどうかという話です。これのもう 1 度確認です。なので、もしぱっと見ていただいて、例えば、教育旅行受入人数と</p>

	かが出ていて、各部署で了解を得ていて、出してよろしいということで平気ですね？あくまでも成果指標として出ていきますので、それに耐えうる、それを 100%やるのが重要なんでけども、ほとんど無理だよという話になると、基本計画というのがまた弱いものになってしまうので、その了解さえあればよろしいです。
市長	基本計画に基づいてのこの成果指標それぞれ列挙させていただいたのは、当然、担当課の話の聞かないでやっているわけではありませんので、達成可能であるということで、これまでもお示しして進めてきた経緯があります。ただ指標設定、目標値が高ければ高いほど、チェック、あるいはアクションに向けてのハードルが高くなるということはその通りでありまして、その辺も加味した上で、各課の方とも協議しながらこの目標数値が現れてきたものと思っておりますし、本日頂いた 24 ページの件についても、掲げられる項目がどれだけ拾えるかにつきましても、今後精査しながらですね、少し見直しをする部分が出てくるかも知れませんが、その時は改めてご報告させていただきます。
会長	年が明けたらすぐにパブリックコメントという話を受けたので、課題は残すんですけど、今日で一応皆さんから問題ないよということを受けないと、なかなか厳しいものになると思うので、これからパブリックコメント出してから大幅に変えるというのは難しいですね。一応、達成できそうだとということで了解をせざるを得ないかなと。事務局から意気込みをいただければ。
事務局	頑張ります。
会長	また全体を見渡して何かあればお願いします。
委員	先日、市の後期基本計画をいただきました。これを出しているのが企画財政課になっていまして、明らかに今の話の拡大版みたいな話がかかれていまして、改めて資料うんぬんというのもあるかと思いますが、PDCA を回すということもやっていると思いますので、うまく連携を取ってやれば、汗水流してやらなくても評価できるのではないかと思います。
市長	まさに、総合計画は市の最上位計画であります。正直言って、昔はてんでんばらばらで、計画期間も違うし、基本的な考え方も整合性が図られていないとか色々ありましたけれども、合併してからその辺の整合性を図りつつ、国の計画もありますので、出来ないことも多々ありますけれども、できるだけ総合計画の期間と合わせるということで進めてきました。そのうえで、総合計画での指標設定にあつては本当に大きな施策部分だけですので、それと同じものが個別計画の指標設定にはならないわけで、段階的に下げるわけですが、そこにおいても整合性を図りながらやるように取り組んではいましたので、そこはご理解いただきたいと思います。
会長	非常に重要なことだと思います。環境基本計画だけが抜きん出て何かやるということはなかなかできないかなと思いますので、市全体の計画の中の位置づけをしっかりと、それに合わせる様な格好になればと思います。私からすると、前にも言いましたけれども、もう少し八幡平市らしさというのがないのかなと思うわけですが、この八幡平市環境基本計画、八幡平市が抜けても数値が違えど、全部使えるというのがすごく心配です。前回は水の話が非常に重要だという部分が強調されてい

	<p>ましたけれども、観光とか、そういうのを含めたものがもう少しあってもいいのかなと気がしてならないんですが、総合計画の中にたぶんどこかであっているかと思うので、ここであえて言う必要はないのかなと思いましたが、どこかで八幡平市の特徴を活かしてとかどこかにあればいいのかなとは思いました。</p>
事務局	<p>貴重なご指摘、ご意見大変ありがとうございました。</p>
5 その他	
事務局	<p>次回ですけれども、第5回を2月に予定させていただきたいと考えております。今後パブリックコメントを行って、その意見を踏まえた内容のものをまとめていきたいと考えております。併せて、市の地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の年次報告ということで、令和2年度の実施状況も報告させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
6 閉会	